

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファイブスター		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月17日 ～ 令和 8年 2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月26日 ～ 令和 8年 3月 3日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援プログラムの充実	・5領域にまたがるプログラムを固定化しないように企画、実施するだけでなく、将来の自立に向けたプログラムや日々の取り組みを実施している。	・子ども達や保護者の方のご要望にも耳を傾け、さらなるプログラムの充実を図る。
2	・個々の保護者に対する相談、支援	・送迎時のお伝えや情報交換だけでなく、お電話やLINE、面談で保護者の方とやり取りして日常的にご相談に応じている。	・保護者の方の意向も鑑みながら、保護者向けのプログラムの実施を検討する。
3	・安全への配慮	・複数の職員で常に見守るようにして安全に配慮し、何かあったときはすぐに保護者に連絡、対応している。	・研修を充実し、個々の職員のさらなるスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流	・地域として交流の機会が少ない。	・自立支援協議会等を通して、他事業所や地域との交流の機会を検討する。
2	・保護者同士の交流	・希望が少ない。 ・働いておられる保護者の方が多い。	・長期休みに保護者が参加できる機会（例えば料理や展示会等）を検討する。
3	・情報の周知	・ホームページの認知度が低い。	・ホームページを充実させ、情報の発信を強化する。